

地域が

人をつなぐ

「絆」に

高齢化が進みます進む中では、高齢者のみなさんの「社会的孤立をどう防ぐか」がとても大切になってきます。今月号では、「地域の居場所」づくりに取り組む「くにみさせ愛」の活動について紹介します。

地域住民の支え合い

超高齢化社会の今、生活スタイルの多様化や核家族化が急激に進んでいます。国見町においても、高齢者の一人暮らし世帯や高齢者夫婦世帯が年々増加し続けています。「くにみさせ愛」は、地域における支え合いの輪を広げるため、「地域の居場所」づくりを地域の人々が中心となって創り出す取り組みで、平成29年3月に立ち上げられました。

くにみさせ愛の活動

「居場所」や「通いの場」「サロン」などの地域福祉に関わる方が月に一度集まり、住民同士の支え合い活動を生み出す仕組みづくりに向けた話し合いを行っています。それぞれの担当が各地区で行った活動の報告やこれまでの振り返りを行います。課題や反省点が出されると、参加者からは多くの意見やアドバイスを寄せられるなど、活発な話し合いが行われています。

各地区の取り組み

それぞれの地区が自発的に取り組む「地域の居場所づくり」

『こらんしょ会』『いっぷく』『宮東寄合処』『陽だまり』など、それぞれの地区で地域の居場所づくりに取り組む「させ愛の輪」が広がっています——

▲『風船遊び』で盛り上がる参加者たち。持ち寄ったお菓子や料理を食べながら、参加者全員で熱中しました



▲参加者の皆さん。「来月もまた、みんなで集まりたいね」と話しました



こらんしょ会

源宗山地区

開催日時 月1回（第2土曜日）
午前10時から午前11時30分
開催場所 源宗山集会所
参加費 1回の参加につき200円

▼源宗山地区『こらんしょ会』の一コマ。会の始まりと終わりに「年をとるってどんなこと」を参加者全員で歌います



5か月ぶりの開催

11月13日、源宗山集会所で開かれた『こらんしょ会』。新型コロナウイルス感染症の影響のため、今年6月の開催以来、2回目の開催です。「久しぶりだねえ。元気だったかいい？」。「最近顔を見ないから心配してたんだよ」。そんな言葉が参加者同士で交わされます。

この日は、会長の高橋とし子さんが腕を振った特製弁当や参加者の皆さんが持ち寄った自慢の一品料理、お菓子がズラリとテーブルに並びました。「今日のおやつは、クリスマス風に袋詰めしたの!!」。と楽しそうに語る高橋さん。

地区の皆さんのために

『こらんしょ会』を立ち上げた高橋さんと鍛冶内悦子さん、斎藤洋子さんは「高齢者の一人暮らしが多い源宗山地区に、みんなが気軽に集まれる、お茶飲みができる場所が

あれば……」。という思いを抱いていました。町内会長の協力もあり、平成26年4月に『こらんしょ会』が始まりました。誰でも気軽に参加してほしいという思いから名付けた『こらんしょ会』。毎月地区の皆さんが集まり、体操やゲーム、歌を歌って楽しく体を動かした後は、お待ちかねの昼食会。高橋さんらが手作りする食事は大好評で、参加者の皆さんが笑顔になります。「みんなの顔が見られて本当にうれしい。再開を待っていたの」。こうして集まるのが生きがい、これからも頑張れる」と参加した皆さんが語ります。その言葉からは『こらんしょ会』を約7年間継続してきた、確かな「つながり」が感じられました。



▲高橋さんによる「おしゃれ」な心遣い

話をしたり、食べることは大切なこと。地区の皆さんに、近況報告など世間話をしながら楽しくお茶飲みをしたり、食事をして過ごしてもらえたらうれしいです。特別なことはできないけど、今のまま可能な限り続けていきたいと思っています。

地区の方に声かけをしていますが、参加者を増やすことはなかなか難しいです。気を遣わずに、気軽な気持ちで参加してみてください。お待ちしております。



高橋 とし子 さん

▲お互いの近況報告に話の花を咲かせました